

# 基礎看護学（健康科学領域）

## 1 構 成 員

	平成 24 年 3 月 31 日現在	
教授	3 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
助手（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	1 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	5 人	

## 2 教員の異動状況

渡邊 泰秀（教授）（H14.6.1～現職）

三浦 克敏（教授）（H18.4.1～現職）

永田 年（教授）（H18.4.1～現職）

山下 寛奈（助教）（H17.10.1～19.3.31 助手；19.4.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 23 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	10.46	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0 編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	2.34	
(6) その他（レター等）	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Sugaya K, Seto S, Tsujimura K, Koide Y: Mobility of late endosomal and lysosomal markers on phagosomes analyzed by fluorescence recovery after photobleaching. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 410: 371-375, 2011. [2.60]

インパクトファクターの小計 [ 2.60 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Kono M, Nakamura Y, Suda T, Uchijima M, Tsujimura K, Nagata T, Giermasz AS, Kalinski P, Nakamura H, Chida K: Enhancement of protective immunity against intracellular bacteria using type-1 polarized dendritic cell (DC) vaccine. *Vaccine* 30: 2633-2639, 2012. [3.57]
2. Kato M, Nakamura Y, Suda T, Ozawa Y, Inui N, Seo N, Nagata T, Koide Y, Kalinski P, Nakamura H, Chida K: Enhanced anti-tumor immunity by superantigen-pulsed dendritic cells. *Cancer Immunol. Immunother.* 60(7); 1029-1038, 2012. [4.29]

インパクトファクターの小計 [ 7.86 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 杉山由華, 鈴木陽子, 萱谷圭子, 戸倉新樹, 矢口貴志, 亀井克彦, 西村和子: *Fonsecaea Monophora* によるクロモブラストミコーシス *Med. Mycol. J.* 52, 255-260, 2011. [0.00]

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Nagata T, Koide Y: Immune responses against *Mycobacterium tuberculosis* and the vaccine strategies. In Cardona P-J (Edit.): *Understanding tuberculosis – Analyzing the origin of Mycobacterium tuberculosis pathogenicity*, InTech, 2012, ISBN 978-953-307-942-4.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Moriki T, A case of diffuse idiopathic breast neuroendocrine (NE) cell hyperplasia with NE-DCIS, *Virchows Arch.* 459 : S77-S78, 2011. [2.34]

インパクトファクターの小計 [ 2.34 ]

4 特許等の出願状況

	平成 23 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

## 5 医学研究費取得状況

	平成 23 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(100 万円)
(2) 厚生労働省科学研究費	0 件	( 0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	( 0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	( 0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	( 0 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	( 0 万円)

### (1) 文部科学省科学研究費

三浦克敏 (代表者) A-STEP フィージビリティースタディー・ステージ 探索タイプ  
「特異的超音波顕微鏡画像の描出方法の開発」100 万円

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	2 件	0 件
(3) 学会座長回数	1 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	3 件
(6) 一般演題発表数	5 件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Miura K: Evaluate tissue hardness by ultrasonic microscopy and its clinical application. 11th Hamamatsu-Kyungpook Joint Medical Symposium, Daegu, Korea, September, 2011.
2. Nagata T: Situation of tuberculosis in Japan and the public health strategy. 11th Hamamatsu-Kyungpook Joint Medical Symposium, Daegu, Korea, September, 2011.

#### 4) 国際学会・会議等での座長

1. Miura K 11th Hamamatsu-Kyungpook Joint Medical Symposium, Daegu, Korea, September, 2011.

#### 5) 一般発表

##### ポスター発表

1. Eweda G, Nagata T, Suzuki D, Tsujimura K, Koide Y: Identification of murine T-cell epitopes on low-molecular-mass secreted proteins (CFP11, CFP17, TB18.5) of *Mycobacterium tuberculosis*. International Union of Microbiological Societies 2011 (IUMS2011) Congress, September 6-10, 2011, Sapporo, Japan.
2. Miura K: Clinical application of ultrasonic microscopy for histological examination, Experimental

biology 2011. April, 2011, Washington DC, USA.

3. Miura K: Useful ultrasonic microscopic images reflecting tissue elasticity for new histological parameter, 7th Asia Pacific IAP Congress, Taipei, Taiwan, May, 2011.
4. Miura K: A case of diffuse idiopathic breast neuroendocrine cell hyperplasia with NE-DCIS, 23<sup>rd</sup> European Congress of Pathology, Helsinki, Finland, August, 2011.
5. Kita S, Watanabe Y, Yamashita K, Yamada T, Yamamoto S, Kimura J, Iwamoto T.: Pharmacological Properties of YM-244769, a specific Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup> exchange inhibitor, in cardiac myocytes. 56th Annual Meeting of Biophysical Society, San Diego, USA, February 25-29, 2012.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

三浦克敏：日本病理学会評議員

日本臨床細胞学会静岡県支部理事

渡邊泰秀：日本薬理学会評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	1件

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 永田、Journal of Vaccine and Vaccination（米国）、Editorial Board

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

永田 年：5回 Microbiology and Immunology（日本）

1回 Cancer Letters（米国）

1回 Ecological Indicators（米国）

## 9 共同研究の実施状況

	平成23年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	1件
(3) 学内共同研究	2件

(2) 国内共同研究

1. 福島県立医科大学薬理学講座および福岡大学医学部薬理学講座と「Na/Ca 交換輸送体と心筋保護作用を有する薬物との関係」をテーマに共同研究を行なっている。（渡邊泰秀）

(3) 学内共同研究

1. 感染症学講座（生体防御部門）と「結核菌に対する T 細胞応答」をテーマに共同研究をしている。結核菌の急性感染期の代表的抗原である低分子量分泌タンパク（CFP11, CFP17, TB18.5）のヒトの優勢 T 細胞エピトープの同定をおこなった。（永田 年）

2. 臨床薬理学講座と「Na/Ca 交換体と心筋保護薬との関係」をテーマに共同研究を行なっている。  
(渡邊泰秀)

## 10 産学共同研究

	平成 23 年度
産学共同研究	1 件

1. 企業と超音波顕微鏡の臨床応用について共同研究を行っている。(三浦克敏)

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 超音波顕微鏡を用いた肺組織の評価について、内外の病理学会で研究発表をおこなった。特異的な超音波画像を描出するために、抗体を用いる増感法で成果を得た。(三浦克敏)